

「さとやま農村学校」と「さとやま環境教育プログラム」作り

活動地域 福井県

つづける助成
3年目
実践

さとやま農村学校延べ参加者 **131人**

さとやま結ボランティアのべ参加者 **54人**

今年度計画の達成度 **80%**

目標達成度 **90%**



小川での生き物探し

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

リピート率を高めるために、活動の満足度を高めるだけでなく、つながりを感じられるプログラムやまた来たいと感じられるアクティビティとなるような活動の組立てを行った。

■ 工夫した点

子どもの学びコースは福井県内の小学生が対象であったが、今回、中京圏の子どもたちを対象に里海を体験する宿泊体験を行った。また、活動写真展にて発信も行った。

課題

里山集落には、日本らしい農村の文化、豊かな自然環境が多く残っているが、少子高齢化、過疎化により、環境が維持できず、荒廃し、次世代に引き継ぎにくくなっている。

目標

里山・農村集落に根づく自然と人が共生・共存する農村文化を感じ、学び、考えられる場を提供することで、福井の里山環境が保全される。

活動内容と成果

- 農村の文化、自然環境等を体験を通じて、学び、感じ、考える「さとやま農村学校」を子どもの学びコース（全9回・131人参加）、おとなの学びコース（全8回・74人参加）を行い、子どもと大人両方を対象に里山環境、農村文化に関わる活動を展開
- 農村のボランティア活動である「さとやま結ボランティア」を行い、1～4泊滞在しながら行う農村ボランティア活動（4回・54人参加）を行った
- 里山環境や農村文化のことを学べる教材「さとやま環境教育プログラム」を15アクティビティを造成し、実践活動を2回行った



手作業による田植え

全助成期間の活動を振り返って

3年間の活動を通じて、地域外の住民が、里山の環境を「知り→学び・触れて→つながっていく」というステップを経て、里山へのつながりを深めていくことができ、里山の環境保全への意識啓発や保全活動へのきっかけ作りを行うことができた。また、都市と農村の支えあ関係づくりを構築していくことで、地域外の住民が里山環境の保全を自分ごととしてとらえられる環境を整えることができた。



地域伝承行事のお手伝い

〒910-2464
福井県福井市手町30-1
電話：0776-93-2335
E-mail：info@fukui-kyougi.com
HP：http://fukui-kyougi.com



今後の展望

リピーターになった地域外住民とのつながりをこれから永続的に保っていくことができるように、里山での環境教育を子どもから大人までを対象に継続的に展開していき、さらなる里山保全人材の確保、また、都市と農村の支えあ関係による里山環境の保全、農村文化の継承を果たしていきたいと思う。さらには、地域内外の多様な人によるつながりを構築していくことにより、社会的な発信力を持つような取組みへと発展させていきたい。